



FIT 切れ太陽光を活用した 新たな地産地消エネルギーモデルを構築します -いこま市民パワーを活用した調査検討事業が国補助事業に採択-

生駒市は、地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」に市内の F I T 切れ電源を集約し、公共施設に供給する事業の実現に向けた調査・検討事業を提案し、8 月 16 日に環境省補助事業として採択されました。新たな地域モデルの実現を目指し、9 月議会の補正予算に提案します。

※ F I T 切れ電源：F I T（固定価格買い取り）制度による買取期間が終了した電源。11 月から本制度による買取期間が順次終了することから、その活用策が求められています。

■ 事業の目的

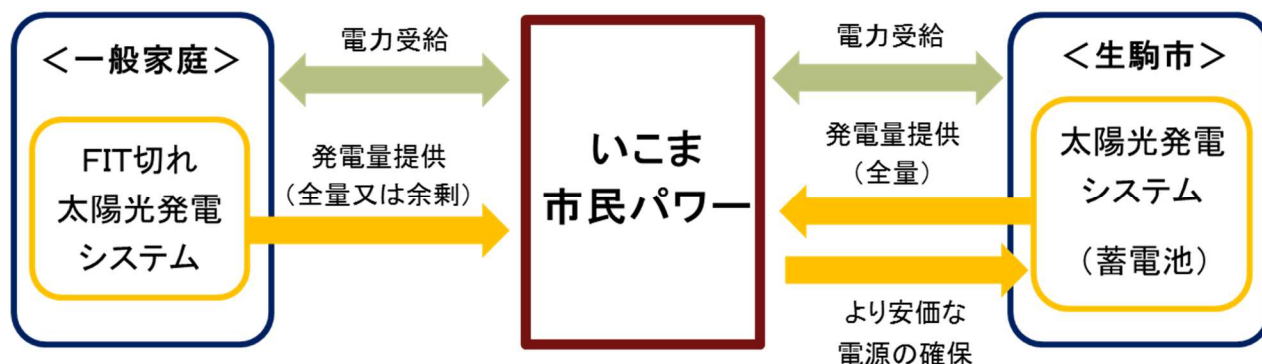
平成 26 年 3 月に環境モデル都市に、今年 7 月には S D G s 未来都市に選定された生駒市。環境モデル都市アクションプラン等に基づき、地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」を設立し、様々な地域課題の解決を図る地域モデルの構築を目指してきました。今後 F I T 切れ太陽光発電が生じるなかで、今回の補助事業を通じて、再生可能エネルギーの普及拡大や、いこま市民パワー株式会社の運営基盤強化、安価な電源の確保といった、次なる目的達成に向けた検討を行います。

■ 事業の検討内容

本補助事業では、新たな地産地消エネルギーモデルの構築に向け、F I T 切れ電源の獲得方法など事業の仕組み作りや、地域内電源の有効活用等の調査を行います。

事業全体のイメージは、いこま市民パワー株式会社が市内の F I T 切れ電源を集約して公共施設に電力供給することを基本構造とし、再生可能エネルギーの拡大に向けた取組を検討します。

【事業のイメージ】



(2/2)

■ 補正予算（案）

委託料 10,000 千円（補助率 10／10）

※環境省・平成 31 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金（脱炭素イノベーションによる地域循環共生圏構築事業）

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

生駒市環境モデル都市推進課（課長 竹本） ☎0743-74-1111（内線 371）